

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	ダム管理事業		
目的	(1) 対象	下流域住民	
	(2) 意図	洪水被害や濁水被害から守る。	
事業概要	○洪水調節：洪水から下流域住民を守るため、ダムの洪水調節を実施する。 ○利水補給、濁水調整：濁水から下流域住民を守るため、ダムから利水補給を実施し、また、必要に応じて関係機関との調整を実施する。 ○施設の維持管理：ダム機能維持のため、施設の点検及び老朽施設の修繕、更新を実施する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	

  

成果参考指標	指標名	県民の安全安心な暮らしの確保率（％）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	$(A-B)/A$ ※A=洪水調節日数+補給日数、B=被害日数（計画規模を超えるものを除く）	目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	％
			実績値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	％
			達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	％

  

成果参考指標	指標名	県民の安全安心な暮らしの確保率（％）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	$(A-B)/A$ ※A=洪水調節日数+補給日数、B=被害日数（計画規模を超えるものを除く）	目標値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	％
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	％
			達成率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	％

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	680,999	924,696
うち一般財源(千円)	120,394	213,239

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

洪水調節、利水補給を実施するため適切な維持管理に努める。 ・出水期前にダム管理演習、ダム管理所長会議を開催し、危機管理体制を確認 ・濁水に備え、降雨、流況を把握するとともに、必要に応じて調整協議を実施 ・機器の定期的な点検、保守を実施 ・耐用年数を経過した設備、機器の計画的な更新及び予算の平準化、最小化を図るため、長寿命化計画を策定
---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

ダムの適切な洪水調節、利水補給の実施により、流域住民の安全安心な暮らしが守られた。
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<b>①困っている「状況」</b> ・限られた予算で各設備の点検結果や老朽化の状況に応じて計画的な更新を行う必要がある ・機器更新に係る交付金事業の採択要件として、長寿命化計画の策定が条件となっている
<b>②困っている状況が発生している「原因」</b> H25年度より経過年数上位のダムから長寿命化計画を策定中であるが、予算上の制約から全てのダムの計画策定に至っていない。
<b>③原因を解消するための「課題」</b> ダム長寿命化計画の早期策定

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

ダム長寿命化計画策定に向けた予算確保
--------------------

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

（任意記載欄）
---------